

### 第3 県債及び一時借入金の状況

県債は、県が建設事業や災害復旧事業を行うなど一時に多額の資金を必要とする場合、この財源として総務大臣の同意を得て国等から長期に借入れる資金であり、後年度に一定の償還計画に基づき返還していくものです。平成20年度末における県債の現在高は、第16表のとおり1兆239億1,135万4千円で、前年度に比べ、413億8,254万円、4.2%増加しています。なお、県債依存度と県債年度末現在高の推移及び県民1人あたりの県債現在高は、第18図及び資料17に示したとおりです。

また、一時借入金は、予算執行にあたって歳計現金の資金繰りに不足を生じた場合、一時的に予算に定められた範囲内で市中銀行から借り入れるものです。平成20年度におきましては、資金繰りの必要から最大544億円の借入れを行いました。全額償還しています。

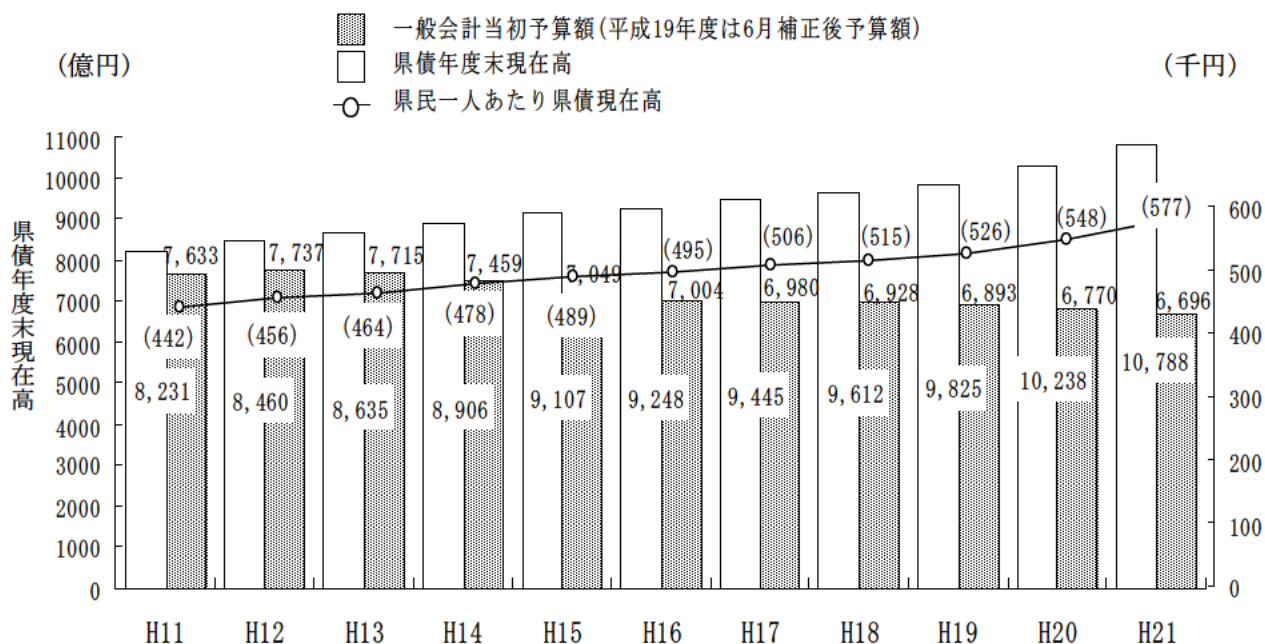
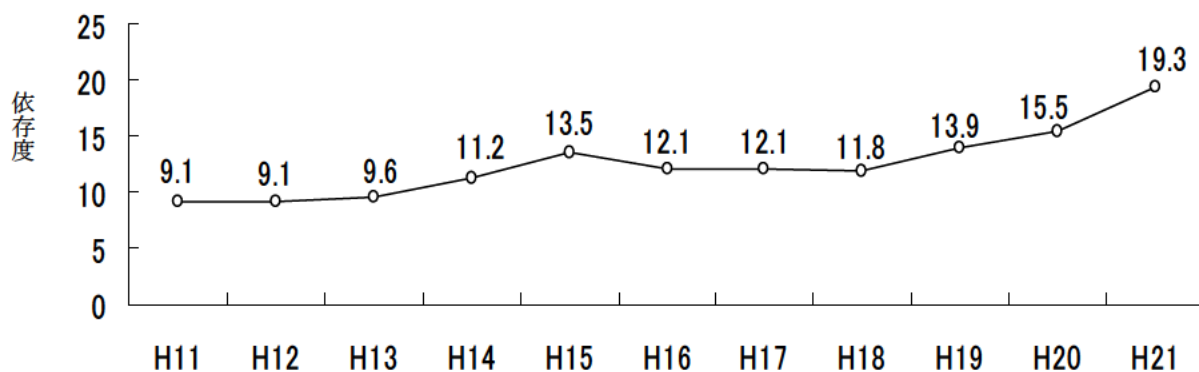
第16表 平成20年度末における県債の現在高（一般会計、事業別）

（単位：千円）

	現在高（見込高）
一般公共事業債	386,318,133
一般単独事業債	278,950,477
公営住宅建設事業債	3,866,812
災害復旧事業債	11,554,486
首都圏等整備事業債	7,482,727
厚生福祉施設事業債	2,144,990
教育・福祉施設等整備事業債	11,196,512
退職手当債	18,900,000
国の予算貸付・政府関係機関貸付債	8,354,695
その他	295,074,519
合計	1,023,843,351

第18図 県債依存度と県債年度末現在高の推移（一般会計）

(%) 県債依存度（当初予算（平成19年度は6月補正後））



(注) 借換債を除いた実質ベースで示してあります。

(注) 年度末残高及び県民一人あたりの県債現在高の平成20年度以前の数値は決算額、平成21年度は見込額を基準にして計算してあります。